



10月号 令和7年10月10日 発行

# 四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校  
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60  
Tel(048)466-4711  
Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

「だれか」は「あなた」で、「あなた」は「わたし」

校長 太田 禎治

9月29日（月）の3時間目に、教育実習生の研究授業がありました。2年生保健分野の単元で、「応急手当」について学びました。授業の中で「AED」を使った救急救命についても学習し、負傷者発見からの一連の救命措置を確認しました。私たち教職員も毎年必ず「AED」の研修を行います。その中での確認事項の一つが「だれか」ではなく「あなた」にお願いするということ。

【意識のない負傷者を発見した場合】

① 「だれか来てください。」※周囲に自分以外のだれもいない場合声を聴いて人が集まってきたら

② 「あなたはAEDをもってきてください」

③ 「あなたは119番通報してください。連絡したら戻ってきてください」

④ わたしは、AEDが届くまで心臓マッサージを続ける

このような場合、不特定の「だれか」ではなく、特定の「あなた」を指名する。

名前がわかっているのなら「太田さんあなたが・・・」、知らなくても「その眼鏡をかけている男性のあなたが・・・」など個人がわかる形で依頼するのが基本。

そして、状況を適切に把握できたら「そのあなた・・・」と声を掛けられる前に「わたしはAEDをもってきます」「わたしは119番通報します」と声をだせるといいと思います。

だれかがやってくれるのを待つのではなく、助けを求められている「あなた」が「わたし」であると思って勇気ある行動ができるようになりたいものです。

不審者対応や火災等の通報でも「だれか」ではなく、「わたし」が。

何か事件や事故があったとき、「きっとだれかが警察や消防に連絡しているだろう」と判断し、何もしないことがあると指摘されています。「だれかが・・・」とみんなが考えた結果、だれ一人通報せず、対応が遅れることがあるとのこと。不審者対応や火災等の場合は、もちろん二次被害は防がなくてははいませんが、だれも通報しないという最悪の事態は避けたいものです。

## 蒸気機関車にヘッドライトがあるのは？ ～ 見せる工夫 ～

右下の蒸気機関車（SL）のイラストをみると、先頭にヘッドライトがあります。かつてSLを操縦していた方に話を聞いたことがありますが、ヘッドライトをととしても、運転席から前方はあまり確認できないようです。（原動力となる内燃機関が前方に大きくでているため）では、なぜライト？ 答えは「周囲の人に列車が近づいたのを知らせるため」すなわち、車体が大きくて、急には停止できないSLの存在を見せるため。10月に入り、日の入りが早くなりました。塾などで暗い道を自転車等で帰宅する生徒も多いと思いますが、周囲から自分の存在をわからせる（目立たせる）工夫をお願いします。